

2004年度

.....  
**高校生憲法意識調査のまとめ**  
.....

日本高等学校教職員組合

## 【目次】

はじめに .....	1
1 調査の概要 .....	2
2 調査結果の特徴「若者からのメッセージ」 .....	3
3 基礎データ .....	6
4 設問ごとの分析	
1) Q 1 .....	12
2) Q 2～Q 5 .....	17
3) Q 6～Q 10 .....	19
4) Q 11 .....	21
5 資料	
基礎調査用紙 .....	27
質問用紙 .....	28
回答用紙 .....	32

## はじめに

日本国憲法は1946年11月3日の公布から満58年をむかえました。

しかしいま、憲法の改定をめぐる、戦後史のなかでももっとも激しい動きが展開されています。

日高教はこの間、憲法を教育や社会に生かすことを運動の基調にすえてとりくんできました。また、国民主権と平和主義、基本的人権の尊重を基本原理とする憲法の崇高な理想の実現が「根本において教育の力にまつべきものである」(教育基本法前文)との自覚に立ち、「平和を守り、真実を貫く民主教育」を確立するために教育研究運動を積極的に展開してきました。

こうした教育研究運動の一環として、憲法・平和教育の実践上の課題を明らかにするために、日高教は1977年以來5年ごとに「高校生憲法意識調査」にとりくんできました。今回の調査は前回調査から4年目ですが、こんにちの憲法をめぐる歴史的な情勢を考慮し1年くりあげて実施したものです。

前回の調査からの4年間に、政治、社会状況が大きく変化しました。アメリカの9・11テロとアフガンに対する報復戦争やイラクへの武力攻撃、自衛隊の海外派兵や有事法制化など、高校生にとっても「戦争と平和」の問題が現実的な課題となっていると考えられます。また、青年の「就職難」がいつそう深刻になるなど、高校生が直接的に自らの未来と社会のあり方について考えざるを得ない状況がうまれています。そこで今回の調査では、過去の調査との比較分析よりも、高校生が憲法とのかかわりで“今の社会”をどうとらえ、“あるべき社会像”をどう模索しているかに重点をおきました。それは教育基本法が教育の目的としてかかげている「平和的な国家及び社会の形成者」を育成する主権者育成の教育の課題と深く結びついているからです。

調査結果の全体の特徴は、こんにちの社会の現実と向き合わざるを得ない高校生が、現在と未来の日本の社会状況に危機感を募らせ、日本国憲法の平和主義と基本的人権尊重の原理を信頼し、日本国憲法がめざす理想の実現を求めていることです。

この調査にあらわれた、高校生の願いや不安を受けとめ、励まし、彼らの胸の奥底にある真実の平和を求める願いに共感を寄せながら、教育実践と教育運動をすすめることが求められています。

21世紀の主権者である高校生の未来に直接、深くかかる憲法問題について、高校生が学び、論議に参加し、意見表明の場が保障されることは不可欠であり、それは教職員や大人たちの差し迫った課題となっています。また、高校生の意見や思いを受け止めることが、憲法をめぐる国民的論議や運動をゆたかに発展させるものと確信します。さらに、教育基本法「改正」が具体的政治日程にのぼるという緊迫した状況のもとで、この憲法意識調査の結果について論議を深めることは、教育基本法を生かす実践上の課題をいつそう浮き彫りにすると確信します。

今回の調査の実施にあたって、全国で約9000人の高校生の協力をいただきました。ご協力いただいた高校生ならびに教職員みなさんに感謝を申し上げますとともに、この調査報告が教職員のみならず多くの人々に活用されることを期待します。

# 1 調査の概要

## 1-1【調査の目的】

憲法そのものや現代社会への高校生の意識調査によって、社会や政治、文化、自然など高校生を取り巻く環境に対してどういう認識や思いを持っているかを明らかにし、これから憲法平和教育をおこなっていくにあたっての教育実践上の課題を明らかにすることを目的とした。

## 1-2【調査対象】

日高教構成組織に、普通科2校専門学科1校定時制1校に、1～3学年から各1クラス、合計4校、12クラスの生徒を目安に調査を依頼した。結果、27道府県4政令指定市106校の協力が得られ、9001名の高校生から回答が寄せられた。内訳は以下のとおり。

○課程別 全日制 7718 (85.7%) 定時制 1283 (14.3%)

○学年別 1年 3064 (34.0%) 2年 2694 (29.9%) 3年 3084 (34.3%)

※一部総合学科、定時制などで学年を区別できない学校はblankとした。

○学科別 普通 5752 (63.9%) 理数 40 (0.4%) 英語 70 (0.8%)  
工業 1086 (12.1%) 農業 486 (5.4%) 商業 751 (8.3%)  
音楽 105 (1.2%) 農工 119 (1.3%) 水産 109 (1.2%) 情報 36 (0.4%)  
総合 447 (5.0%)

○性別 男 4451 (49.5%) 女 4538 (50.4%) ※12名が回答なし

## 1-3【調査時期】 2004年9月1日～15日

## 1-4【調査・集計方法】

- ①道府県組織を通じて協力を依頼し、各高校では担任の教職員を中心に生徒に協力をもとめ、放課後あるいは持ち帰るなどして実施した。
- ②集計に際しては、設問間で矛盾すると思われる回答も、原則として記述どおりに入力した。
- ③複数回答の設問は、制限にかかわらずすべて入力した。設問の条件に合わない回答は、数が多い場合分析の際にコメントをつけてある。
- ④記述の欄はできる限り原文のまま入力したが、方言やわかりにくい表現、冗長な言い回しなどは、原文の趣旨を変えないことを原則に、入力者の判断で一部省略したり変更したところがある。

## 2 調査結果の特徴 「若者からのメッセージ」

### 1. 日本国憲法に信頼を寄せる若者

調査結果は全体として、「憲法の意義」「平和の大切さ」が日本の高校生のなかにしっかりと根付いていることを示しています。憲法9条について「変えない方がよい」44%が、「変えた方がよい」12%の3倍、「日本の平和は何によって守られているか」については、67%が「戦争放棄の憲法」を選択し、さらに、「21世紀の日本がどのような社会であってほしいか」という問いに、回答者の46%が「戦争・平和」をとりあげていることからうかがうことができます。回答した高校生たちは、従来と比べて戦争に対するイメージがより具体的に、身近な問題になっています。アフガニスタンやイラクの戦争の惨禍を映像として日常的に「体験」しているためだろうと思われます。そういう意味では、憲法9条の理念は若者たちの心のよりどころとなっているのかもしれない。多くの高校生の回答に込められている憲法9条への信頼感は注目する必要があります。

一方、「9条改定」について、43%が「わからない」と回答しています。分析にあたって、「変えない」「変える」という回答以上に、私たちはこの回答の比率の大きさを重視しました。この設問について調査校106校ごとの回答内容を検討したところ、「変えない方がよい」「変える方がよい」のどちらかを選んだ比率の高い学校は、「わからない」を選ぶ比率がきわめて低いことがわかりました。いくつかの調査校に聞いたところ、「憲法教育」を教育課程に位置づけ実践を行っている学校、米軍基地が身近にあり戦争や平和、安保条約といった課題に日常的に直面している学校などであることがわかりました。憲法9条や安保体制について、無関心ではいられない状況におかれている高校生たちの回答では、「変える」「変えない」もともに全国平均を大きく上回っています。

憲法の条文を全く読んだこともなく、学んだこともないという高校生の「わからない」の比率は78%にもなっています。記述欄に「こんなこと高校生の僕らにわかったらすごい」という意見がありました。教育基本法第8条にいう「政治的教養」としての憲法教育は、重要な教育実践の課題であることをあらためて考えさせられます。

### 2. 現実と向き合いつつ憲法の理想を求める高校生

回答内容の分析を進める中で、憲法第9条と、自衛隊、安保条約の関係がさまざまな形で認識されていることがわかりました。後述する「設問ごとの分析」で設問間の相互参照を行ないましたが、第9条を変えるにしても変えないにしても、実に多様なバラツキがみられます。私たちは当初、高校生の憲法意識が混乱しているというとらえ方をしましたが、詳細を見ると、バラツキはあるものの、いずれも回答者一人ひとりの筋の通った文脈があることがわかりました。

「現憲法は解釈の余地があるので厳密に変えてほしい。日本は安保で守られている」「戦争放棄の憲法に守られ、安保によっても守られている」「アメリカから自立するために憲法を変えて戦力を持つべきだ」など、一見すると設問間で逆接、あるいは矛盾するように思われる回答パターンも、それなりに筋が通っています。自衛隊は「違憲・合憲」、憲法第9条「変える・変えない・わからない」の組み合わせは6通り、それぞれの組み合わせに対して、日本の平和は自衛隊によって「守られている・守られていない」のそれぞれの回答はほぼ同数でした。つまり、「憲法9条と自衛隊」の問題と、「実際の自衛隊の役割」とは関係がないことがわかります。この組み合わせだけでも12通りのパターンの文脈があり、多い少ないはあっても各々一定の回答者がありました。なぜ、このように一定の世代で意見が多様に分かれるのか、私たちは以下のように考えました。

日本国憲法の戦争放棄の理念は多少の差はあれ、高校生の大多数は知っているし、感情的にも理解できるはず。憲法を知らなくても戦争に対する嫌悪感は当然持つことができます。ところが、現実の日本社会は、高校生が生まれる以前から日米安全保障条約が存在し、それを前提にして外交政策、とくに対米従属的な政策が遂行されています。安保は日本の安全を守ってくれると表面的には容認しながら、まじめに突き詰めて考えると戦争放棄の第9条との葛藤を抱え込まざるを得なくなります。諦め、投げやりに見える言動やラジカルな意見も、実は成長する過程で内在し続けた矛盾が、日本人が戦場にいるという場面を連日のように突きつけられることによって噴出し、とまどう葛藤を解消するための防衛機種の現れなのではないでしょうか。

### 3. 憲法に保障される「権利」は尊重されているか？

分析作業の中で私たちは大きな疑問にぶつかりました。それは「Q2」の基本的人権の尊重に関する設問の回答です。この設問は前回調査と比べ「保障されている」が相当高くなっています。「Q4」教育を受ける権利、「Q5」勤労の権利も同様の傾向にあります。三つのどの設問を見ても状況が好転しているとは考えられません。「Q3」の不安感や、「Q6」社会への満足度は前回調査を下回っていることから、高校生もそのことは意識しているものと考えられます。決して「楽天的な世界観」が広がっているとは受け取れません。

そこで、私たちは議論の末、以下のような仮説を立ててみました。

- ①アフガン・イラクなど、悲惨な子どもの状況をマスコミを通じて日常的に見ることによって、相対的に自分の人権が尊重されているように感じている。
- ②社会状況の悪化（高校中退、引きこもり、就職難、リストラなど）と、自分の状況を比較し、現時点の自分は保障されていると考える。
- ③高校生の社会認識、権利意識が近年著しく減退した。憲法的教養の衰退。

今後さらに深く分析・検討する必要があります。

### 4. 若者の思い描く将来像

設問全体から読み取ることのできる高校生の日本社会に対するイメージは、前述したように、「アメリカに従属する日本」です。軍事・政治・経済・文化などの分野におけるアメリカとの強い関係は、否定的、肯定的に関わらず高校生の底流にあるイメージのようです。また、多くの高校生が前述の葛藤も含め、複合的な不安を持っていることも読み取ることができます。戦争・経済危機・政治倫理問題・環境破壊・犯罪・人権侵害・進路などへの不安などです。「Q1-オ」徴兵制に関する質問では、各選択肢とも前回調査とほぼ同じ比率ですが、わずかに「反対」の数字が上がり、「わからない」の数字が下がっています。記述も各設問ごとに具体的なものが多く、それぞれ一定数ありました。紙数の関係で記述欄は分類しその傾向を「4設問ごとの分析」に紹介しました。

「Q11」は想像可能な近い将来のイメージをきいたものです。記述を詳細に読むと、上記のような高校生の抱いている不安や苦しみ、悩みといったものが裏返しになって描かれていることがうかがえます。これも全記述を掲載するわけにはいかないので、要素で分類し代表的なもの、特徴的なものなどを抽出しました。要素の分類数は「4設問ごとの分析」に掲載してあるので参照してください。

少数の意見ではあったものの、政治家に対する手厳しい意見がありました。前回調査では森前首相の「神の国」発言への批判が多く、今回調査では小泉首相の批判がありました。政治不信は予想以上に高校生の間に広がっていて、抽象的に「民主主義」とか、「住民の声をきいてほしい」といった意見も多くありました。

中にはきわめて悲観的な世界観や乱暴な論理を展開するものがありました。こうした意見には、学校・家

庭・地域社会など、彼らを取り巻く大人社会、マスコミが大きく反映しているのではないかと考えられます。憲法教育はメディア・リテラシーなど幅広く展開される必要もあります。わずか19例ですが、「ドラえもん(のいる社会)」といった記述がありました。子ども向けアニメーションのキャラクターの他の例はありませんでした。ロボットという機械文明の象徴でありながら、闘いをせずになんでも願いを叶えてくれる、ある意味ではもっとも人間的なヒーローなのかもしれません。

## 5. 私たちがめざす憲法・平和教育

第一に、現実の社会のさまざまな問題に関して、高校生が主体的に議論に参加し、社会の主体的な形成者になっていくこと、いわば「大人」になっていくことは、高校教育における最大の課題です。私たちはこの調査を通じて、体系だった憲法・平和教育の実践が、生徒たちの主権者としての人格形成に大きな影響をもたらすことを確認することができました。

教育基本法のめざす目標もそこにあり、私たち教職員もまた、そうした人格形成によって憲法の理想を実現する方向にすすんでいけるものと考えてきました。学校が社会に閉鎖されたままでは、この人格の形成が十分にできるとは思われません。私たちは、生徒参加・父母との共同による学校づくりをめざしてきました。こうした学校づくりが、18歳で政治的判断力を持った「一人前」になることをめざす憲法教育とむすびつくものと考えます。

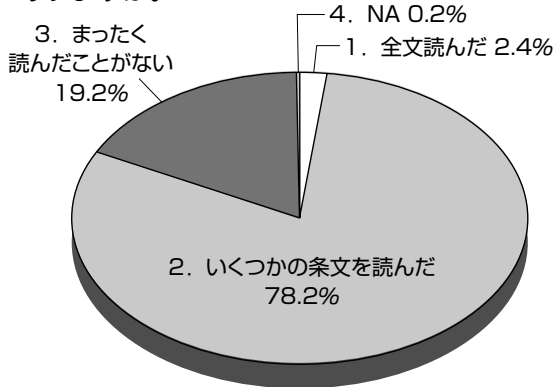
第二に、高校生・青年を励まし、彼らの胸の奥底にある真実の願いに灯をともし、憲法・平和教育を創造的に発展させる課題です。特に、発達段階への深い教育的配慮と、学校地域をとおしての見通しを持った教育課程の編成とその実践が求められています。

第三に、21世紀の担い手である若者の願いや不安、そこに込められた未来への希望を国民的に明らかにする課題です。その一端はこの意識調査によって明らかにされました。この「希望」が、あらゆる場面、あらゆる方法で議論され、国民的課題となることが必要です。それは、教職員・父母の抱える問題解決にとどまらず、多くの国民の憲法をめぐる議論や運動を豊かに発展させることにつながっていくと考えます。

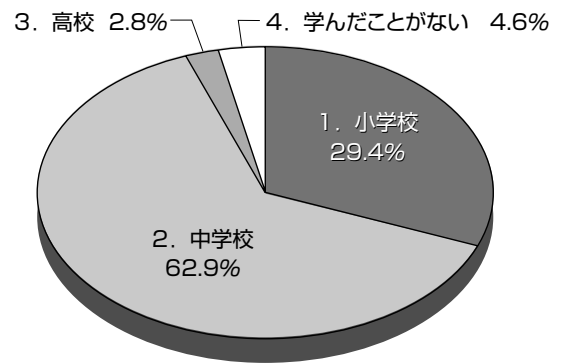
### 3 基礎データ

《日本国憲法とあなたとの関わりについて、該当する項目の番号を回答用紙に記入して下さい》

B2 あなたは日本国憲法をどの程度読んだことがありますか。

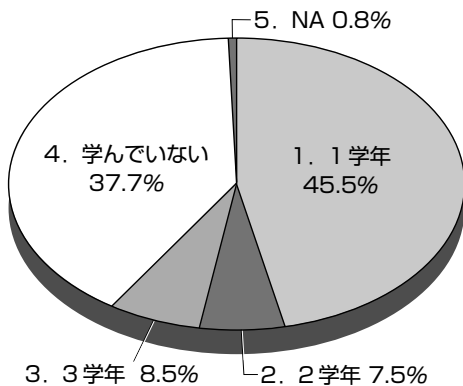


B3 あなたが初めて日本国憲法(一部でも)を学んだのはいつごろですか。

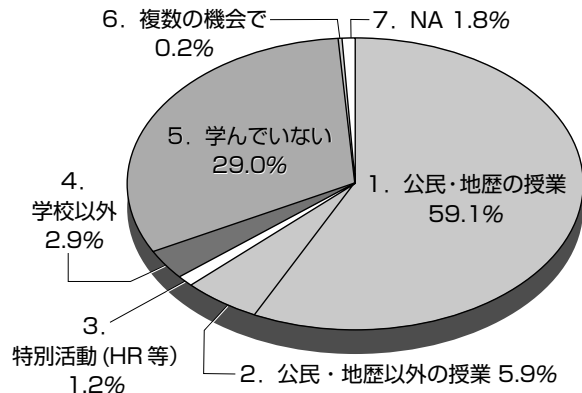


B4 あなたは、高校に入学してから日本国憲法を学びましたか。

ア いつ



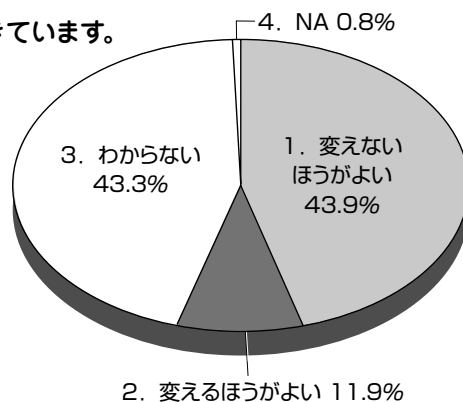
イ どんな機会に



《日本国憲法について、あなたの意見に最も近い項目の番号を回答用紙に記入してください》

(第9条) 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。②前項の目的を達成するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

Q1 ア 近年、憲法9条をめぐる議論が起きています。あなたはどのように考えますか。





アー1 アで1「変えない方がよい」と答えた人、理由はなんですか。回答欄に記入してください。

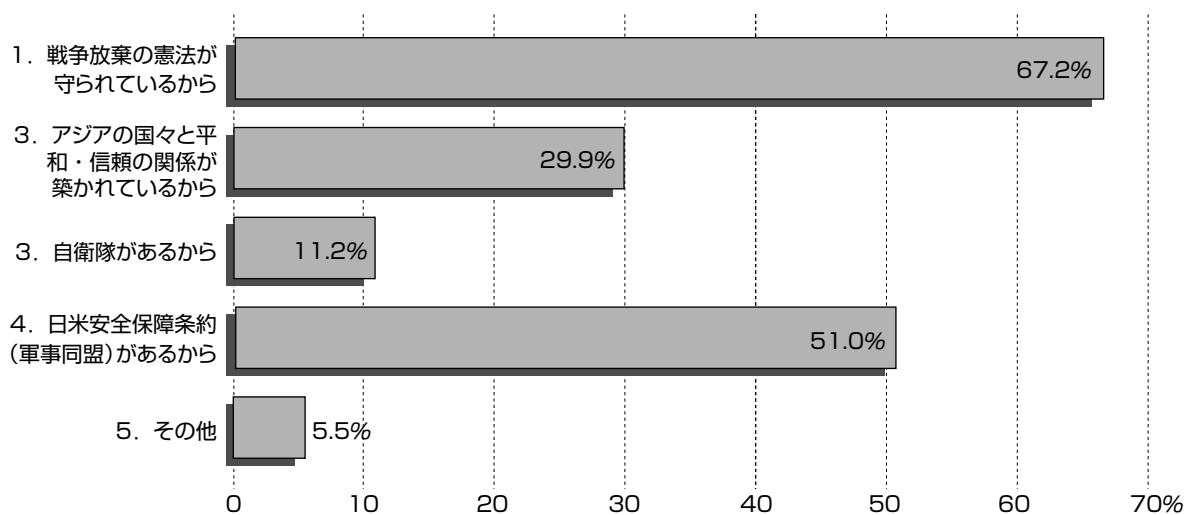
理由を記述したのは 3612

アー2 アで2「変える方がよい」と答えた人、理由はなんですか。回答欄に記入してください。

理由を記述したのは 971

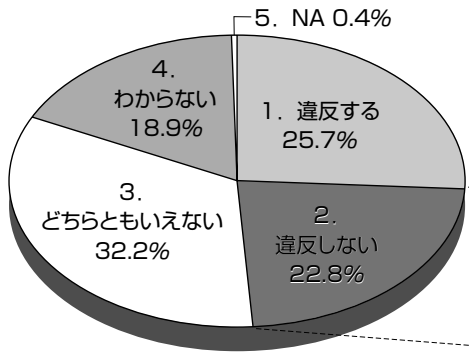
なお、「3. わからない」を選んで理由欄に記述したもの 6

イ 日本の平和は何によって守られていると思いますか。(二つまで)

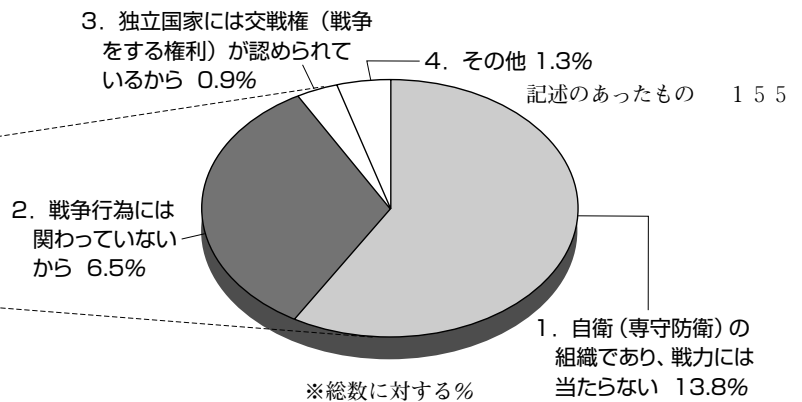


「その他」で記述のあったもの 155

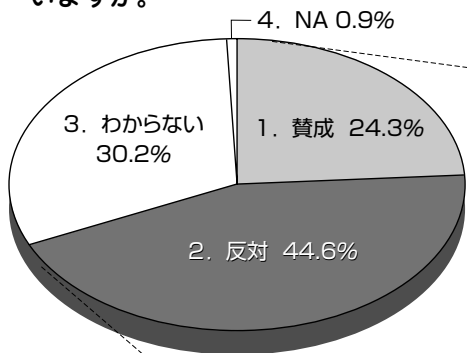
ウ 現在の自衛隊は憲法に違反すると思いますか。



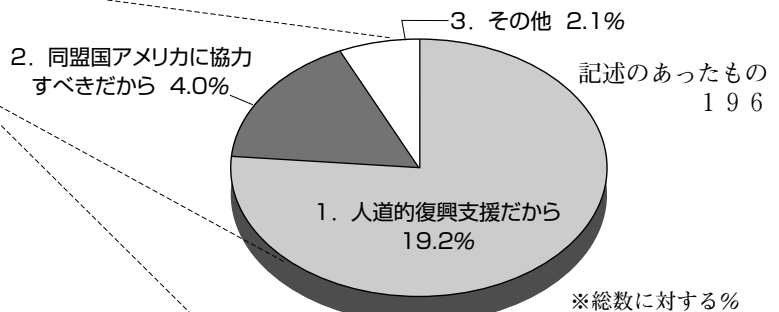
ウー1 ウで2「違反しない」と答えた人、理由はなんですか。



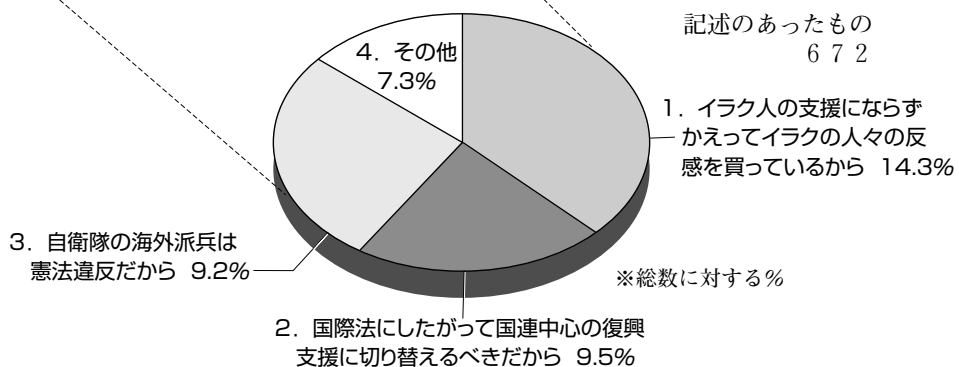
エ イラクへ自衛隊が派遣されていますが、どう思いますか。



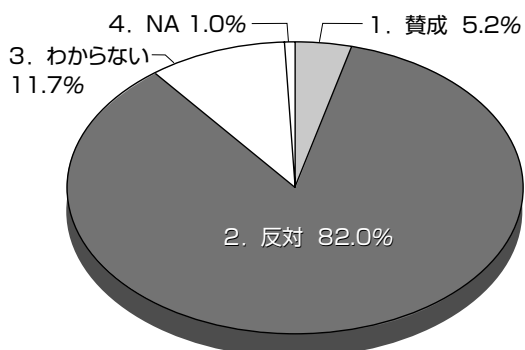
エー1 エで1と答えた人、理由はなんですか。



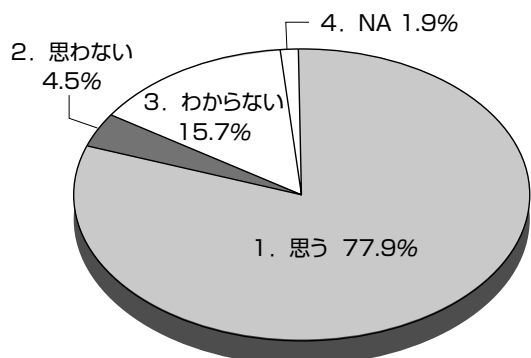
エー2 エで2と答えた人、理由はなんですか。



オ 徴兵制(国家が法律により、青年を一定期間強制的に兵役に就かせる制度)についてどう思いますか。

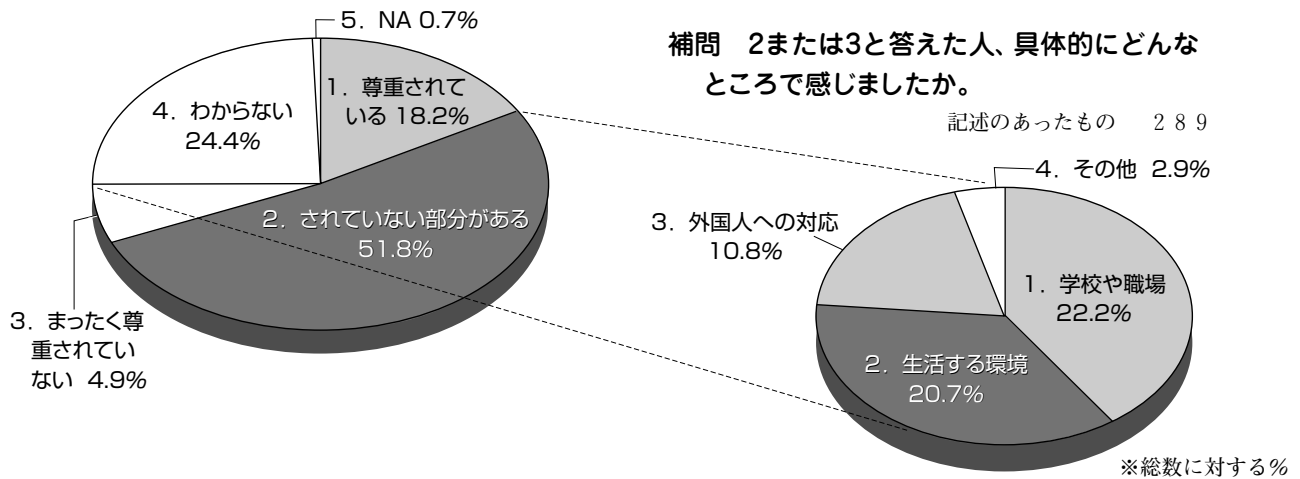


B4 カ 将来、世界のどこかで核戦争が引き起こされる危険があると思いますか。



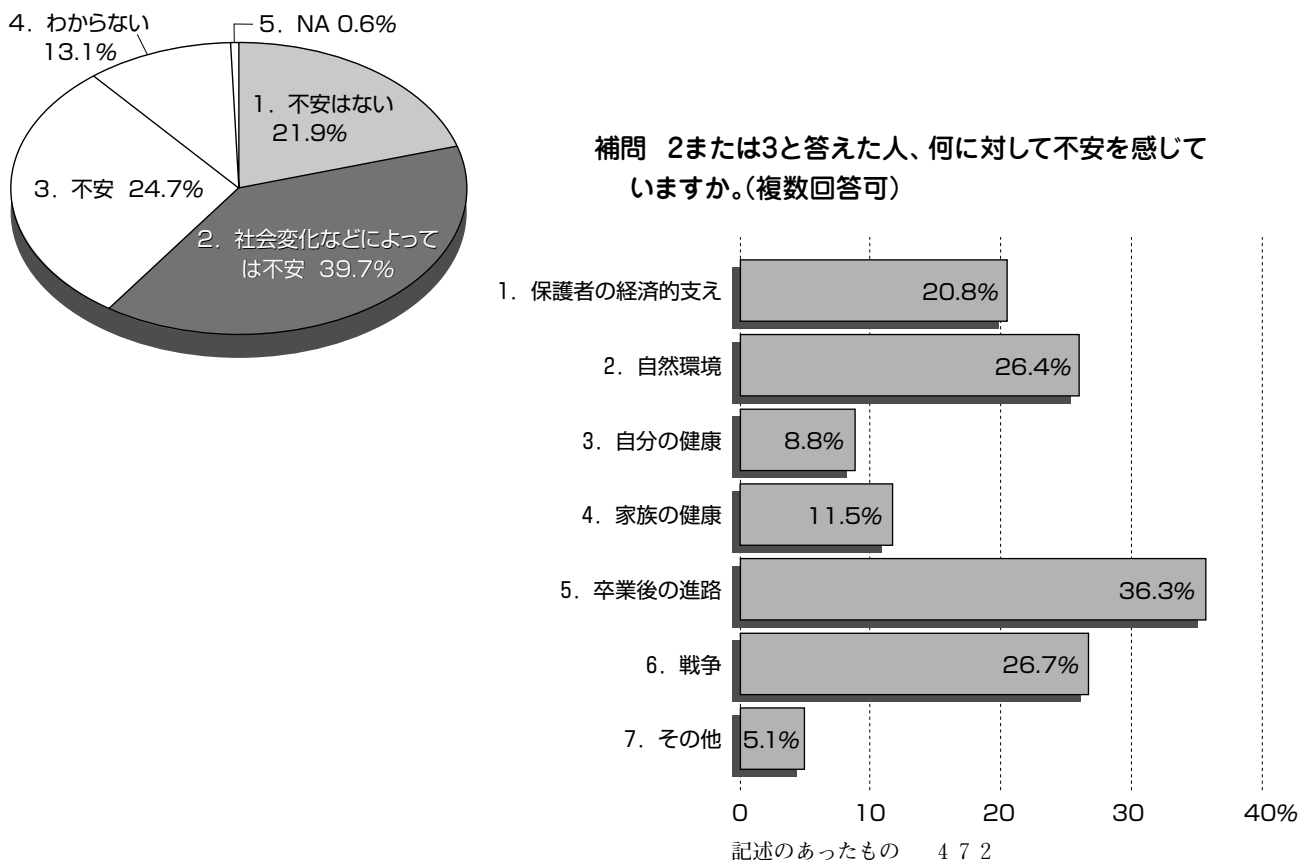
(第11条) 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

Q2 あなた自身やまわりにいる人を見て、現実に基本的人権が尊重されていると思いますか。



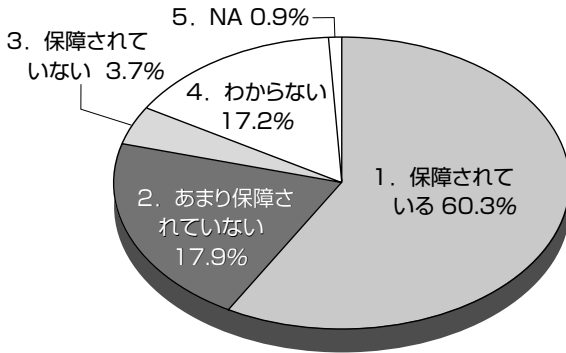
(第25条) すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

Q3 あなたの今の生活についてどう考えていますか。

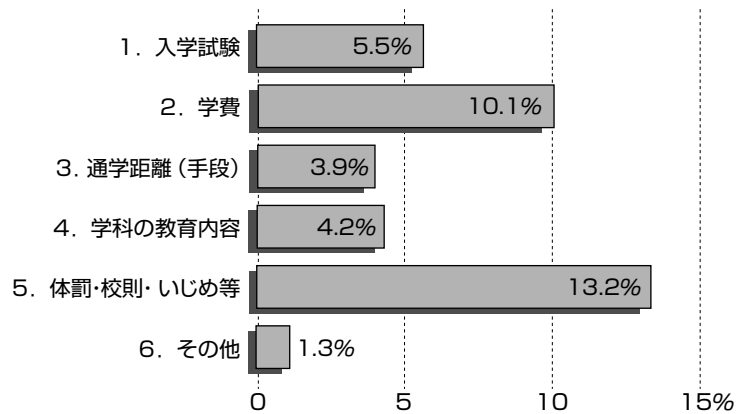


(第26条)すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。 ②すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする。

Q4 あなた自身や周囲の人について、教育を受ける権利が保障されていると思いますか。

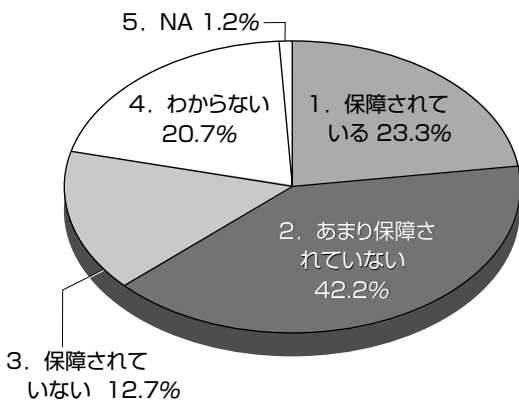


補問 2または3と答えた人、どんな理由で保障されていないと思いますか。(複数回答可)



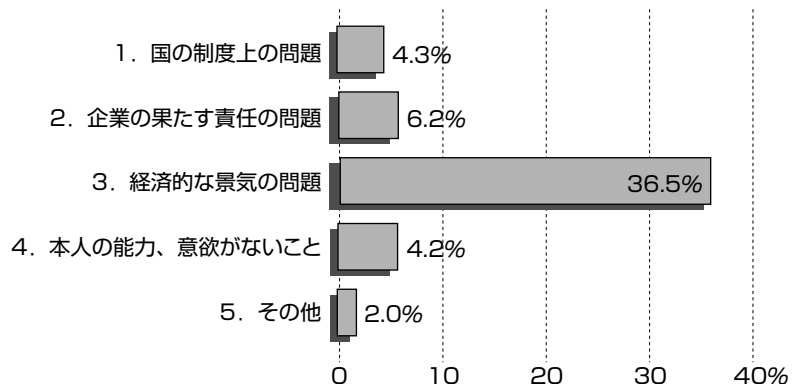
(第27条)すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負う。 ②賃金、就業時間、休息その他の勤労条件に関する基準は、法律でこれを定める。 ③児童は、これを酷使してはならない。

Q5 あなた自身や周囲の人について、働く機会が保障されていると思いますか。



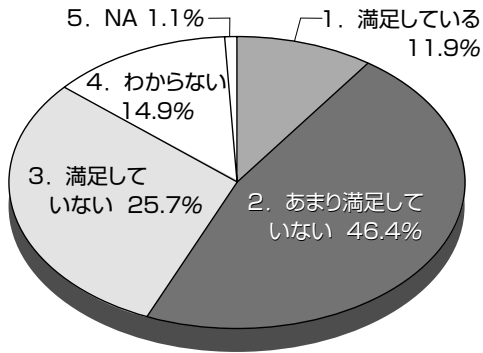
補問 2または3と答えた人、保障されないのはどこに問題があると思いますか。

記述のあったもの 191

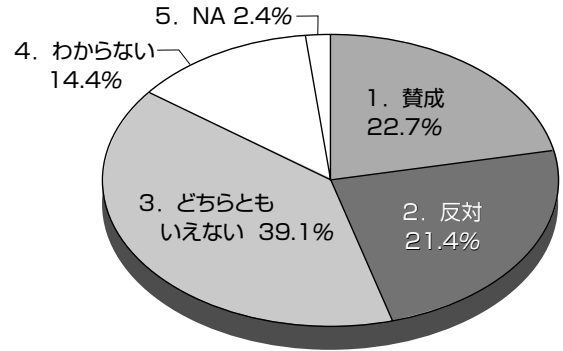


《日本国憲法に関連して、あなたの意見に最も近い項目の番号を回答用紙に記入してください》

Q6 今回の日本の社会に満足していますか。

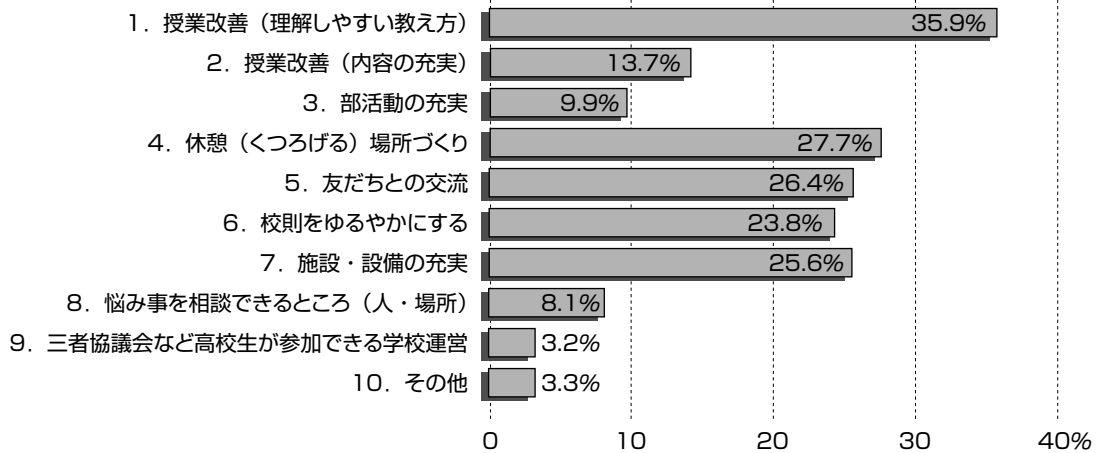


Q7 世界の140カ国以上の国で18歳以上に選挙権が与えられているなかで、現在、日本では選挙権は20歳以上となっていますが、選挙権を18歳まで引き下げることについてどう考えますか。

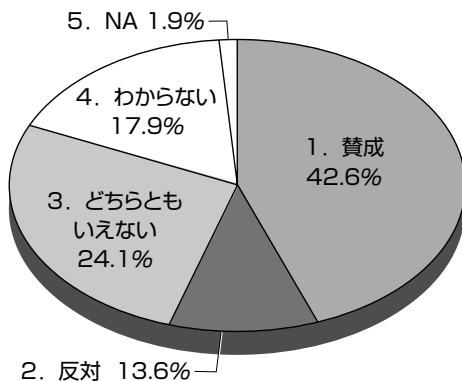


Q8 あなたにとって高校を居心地よくするためには、どうすればいいと思いますか。(二つまで)

記述のあったもの 215

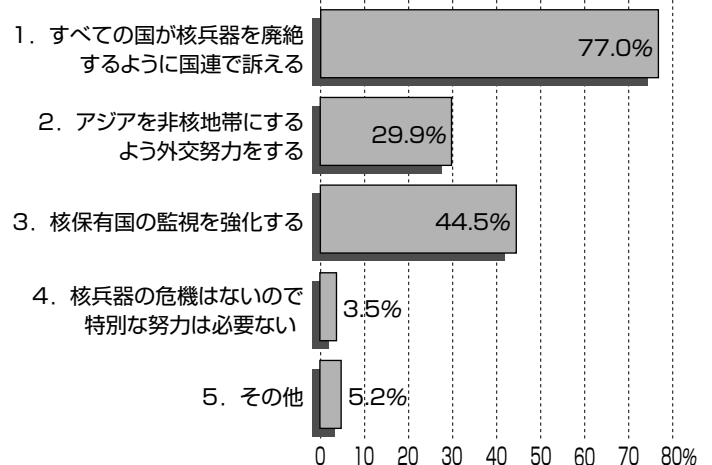


Q9 市町村合併や大型公共事業などの問題で住民投票が行われるときに、中学生以上の住民にも投票させる 自治体があります。あなたはどうか考えますか。



Q10 核戦争の危機を防ぐために、日本は何をすべきだと考えますか。(二つまで)

記述のあったもの 381



## 4 設問ごとの分析

### 4-1「Q1-憲法9条にかかわる設問」について

第9条をめぐる設問に関して、以下のように属性ごと、あるいは設問間でのクロス集計を試みた。

#### 1. 「設問ア」の回答「1. 変えない方がよい」、「2. 変える方がよい」を選んだ理由（記述）の特徴

(1) 「1. 変えない方がよい」を選んだ3953人の内、理由を記述したのは3612人であった。

その内容を分類するために、記述のなかに含まれている文言で検索した。その結果、

①「また戦争」、「再び」、「二度と」、「過去」の文言が含まれたものは232人であった。

この232人の記述は、概ね、憲法9条を支持し、過去の過ちを繰り返さない、二度と（再び）戦争をしないために9条を変えるべきではない、という内容である。

②「平和」、「放棄」の文言が含まれたものは583人であった。

この583人の記述は、概ね、平和を守るためには武力・戦力・戦争などの「放棄」が有効だ、という内容である。

3612人の理由記述の論点は、ほぼこのどちらかに分類できる。ただし、上記①よりも②のほうが圧倒的に多かった。

(2) 「2. 変える方がよい」を選んだ1072人の内、理由を記述したのは971人であった。

その内容は、「1. 変えない方がよい」の理由と異なり、実に多様であった。そこで、以下のように大別し、分類した。下記の「①」は9条を支持しない意見であり、「②」は9条の趣旨に賛成する意見である。「③」～「⑩」は9条に対する態度は曖昧、もしくは不明確なところがある。

①日本が「戦力」を持つべきだからという意見・・・497人

「スイスのような永世中立になる」「自分の国を守るための防衛力は必要だ」などの意見は、ここに分類した。

##### <記述例>

- ・海外に行く必要は全くないが、国内なら自衛隊が必要（北海道1年男）
- ・攻撃されても何もできないのはおかしい。自国を守るためだけならいいと思う（大阪3年女）

②戦力を持たないようもっと明確に条文を変えるべきだという意見・・・111人

##### <記述例>

- ・この憲法を変えるということは「戦争をします」と言っているのと同じなのです。今まで日本は“戦争放棄”というすばらしい憲法を立て守ってきました。これからも「戦争をやらない」と言い切って欲しいから。（福島3年男）
- ・いまの憲法で戦力を保持しているのだから、新しい憲法にして本当に戦力を持たないようにしてほしい。（京都3年男）

③9条と自衛隊や日本政府の政策が矛盾しているから・・・168人

##### <記述例>

- ・実際には戦争に協力しているから。(岡山1年女)
  - ・今の日本は憲法違反をしているから。(愛媛3年男)
- ④時代が変わった、古くさい、情勢にあっていないから・・・63人

<記述例>

- ・いつまでも昔の考え方じゃいけないから。(青森1年女)
  - ・第2次世界大戦終了時に決めたもので、現在の世界情勢と考えると合わないから (長野3年女)
- ⑤何となく、変えるべき、あたりまえ・・・34人

<記述例>

- ・特にないけど変えた方がいいと思う。(横浜2年男)
  - ・くわしく知らないけど、いろいろ問題が起きていてうざいから (富山3年男)
- ⑥9条が守られていないから・・・21人

<記述例>

- ・守られない憲法は意味がないので、守れそうな範囲にすればいい。(高知2年女)
  - ・戦争は絶対にいけないが、これはきつすぎる。(秋田1年男)
- ⑦議論があるから、もめているから・・・21人

<記述例>

- ・議論があるなら問題があるという事だから変えるべき (香川1年男)
  - ・変えないといつまでたっても議論がおさまらないから (愛知1年女)
- ⑧安保、アメリカから独り立ちするために・・・10人

<記述例>

- ・日本は安保に頼りすぎ、危険 (静岡1年男)
  - ・イラク戦争とかでも、結局アメリカに協力してしまっただけで問題になったから (山口2年女)
- ⑨アメリカがつくって押しつけたものだから・・・4人

<記述例>

- ・ほぼアメリカが作った憲法だから (茨城2年男)
  - ・根本的に日本独自の憲法ではないので、やはり敗戦国のレッテルを貼られているようではないから (宮城3年男)
- ⑩その他・・・42人

<記述例>

- ・周りの国がうるさいから変えたらいい。(滋賀3年男)
- ・絶対戦争をしないなら変えてもいい。(長崎3年女)

**2. 「設問ア」に関して、「1. 変えない方がよい」と「2. 変える方がよい」の回答率が全国平均よりも大きく上回った学校(調査集団)を抽出した。**

(表2-1)は「1. 変えない方がよい」が70%を上回った学校(全国平均は44%)であるが、それらの学校は憲法学習を教育課程に位置づけて教育実践がおこなわれている学校、もしくは、近隣に米軍基地がある学校

であった。

(表2-2)は「2. 変える方がよい」が20%を上回った学校(全国平均は12%)であるが、その学校は「1. 変えない方がよい」の回答率が全国平均より比較的高く、「3. わからない」の回答率は全国平均(43%)よりも低い学校であり、その学校の生徒は憲法9条に対する自分の意見をはっきり持っている学校といえる。

(表2-1)

アの回答	1	2	3
A校	80	6	11
B校	73	7	20
C校	70	20	8
D校	82	13	3

(表2-2)

アの回答	1	2	3
E校	53	23	23
F校	47	23	30
G校	55	29	16
H校	47	20	32

(数字は%)

また、憲法を読んだことがあるか、憲法をいつ学んだかを問う「設問B2」～「設問B4」に対して、すべての設問で「読んだことがない」「学んだことがない」と答えたものは328人であったが、この集団に関する「設問ア」の回答は(表2-3)の通りであった。

当然のことであるが、読んだことがない、学んだことがない生徒の圧倒的多数が「3. 分からない」と回答している。(表2-1)と重ねてみると、憲法を変えた方がよいか、変えない方がよいか自分の判断が形成できるようにするには憲法教育、憲法学習が重要であることがみえてくる。

(表2-3)

1	2	3
14.3	7.3	77.7

(数字は%)

### 3. 「憲法9条を変えない方がよい」と答えた集団(3953人)は「設問イ」(日本の平和は何によって守られているか、複数回答)にどのように答えたか、相互参照した。

- ① 「1. 戦争放棄の憲法9条」および「3. 自衛隊」の2つを選択したのは156人
- ② 「1. 戦争放棄の憲法9条」および「4. 日米安保条約」の2つを選択したのは1262人

上記①の、戦争放棄の9条によって日本の平和が守られていると考えながら安保条約を同時に選んだものは、全体(9001人)の14%（「9条を変えない方がよい」と考える集団の32%）であり、かなりの割合である。

上記②の、自衛隊を同時に選んだものは、全体の1.7%（「9条を変えない方がよい」と考える集団の3.9%）である。

なお、「設問イ」に関して「5. その他」を選び、その理由を記述したのは155人であり、特徴的な記述は以下のものである。

#### <記述例>



- ・日本の国民で平和を願う人が多くいるから。平和運動のおかげ。(京都府3年女)
- ・日本の商品がとても良い質の物なので輸入したがつている国が多いから。(佐賀3年男)
- ・日本はアメリカの言いなりになることで戦争を回避している。(北海道3年女)
- ・とりあえず今戦争が起きていないだけで、「平和が守られている」わけではないと思う。(大阪2年女)
- ・たまたま平和だっただけかもしれない。(宮城2年男)

4.「設問ウ-1」(自衛隊は違憲か合憲か)について前回調査と比較すると、(表4)のようになっている。

いずれも「憲法に違反している」のほうが「憲法に違反していない」よりも多い。また、両者とも前回よりもふえている。自衛隊のイラク派兵という現実直面し、自衛隊と憲法の関係自ら考え判断した生徒がふえたことを示している。

(表4) 前回調査との比較

(数字は%)

	憲法に違反している	憲法に違反していない	どちらともいえない	わからない
2000年	21.7	17.9	39.8	20.4
2004年	25.7	22.8	32.2	18.9

5.「設問エ-1」(自衛隊派兵賛成の理由)のうち、「3. その他」を選んで記述したものは140人。内容は多様だが意見の多いものは以下の2つの大別した。

①アメリカとの関係・・・22人

<記述例>

- ・アメリカにさからわんほうがいいから。(香川3年女)
- ・アメリカと同盟を組んでいて、アメリカは日本に自衛隊を要求しているから(大阪府1年男)

②自衛隊の仕事だ・・・21人

<記述例>

- ・こういうあぶない仕事をするためにいるから(福島3年男)
- ・国民の税金で生活しているんだからイラクに行って人の役に立て。(茨城2年女)

6.「設問エ-2」(自衛隊派兵反対の理由)のうち、「4. その他」を選んで記述したものは571人。内容は多様だが、意見の多いものは以下の3つに大別した。

①アメリカの言いなりになっているのはよくないから・・・99人

<記述例>

・日本人が巻き込まれるのはどうかと思う。もしやるならアメリカだけとかでどうぞ。しかもイラク人だって自分の生活があるから、いきなり異文化人が入ってもどうしようもない(北海道2年女)

②隊員・家族が傷つくから・・・74人

<記述例>

・「あれは軍事援助だ」と言っているが、どう見ても戦争への参加。自衛隊の人に仕事をさせて、その人たちは死んで、何もしていない金ばかりもらっている政治家が楽しく生活しているというのは、どう考えても間違い（山口1年男）

③国内の問題が先決・・・16人

<記述例>

・いってもあまり役に立っていない。無駄な金を使っているような気がする。（横浜市2年女）

7.「設問オ」(徴兵制)に関して、前回調査との比較、性別との相互参照をした。

前回よりも「徴兵制に反対」は率が上がり「徴兵制に賛成」は率が下がっている。(表7-1) また、男性よりも女性のほうが「徴兵制に反対」が高率であり、「徴兵制に賛成」は低率である。

(表7-1) 前回調査との比較 (数字は%)

	賛成	反対	わからない
2000年	5.9	78.5	15.1
2004年	5.2	82.0	11.7

(表7-2) 男女の比較 (数字は%)

	賛成	反対	わからない
男(4451人)	7.1	80.9	11.0
女(4538人)	3.4	83.2	12.5

8.「設問カ」(核戦争の危険)に関して、前回調査と比較した。

(表8) 核戦争の起こる危険はあるか (数字は%)

	思う	思わない	わからない
2000年	79.0	5.7	15.0
2004年	77.9	4.5	15.7

4-2 「Q2～Q5 基本的人権」にかかわる設問について

(1) Q2「基本的人権」補問(「保障されていない」「まったく保障されていない」)および「その他」と回答した者の記述の特徴

\*記述は289人 設問の不十分さもあり、設問趣旨とはずれてるものがあったが、記述内容を以下のように分類した。

- ①社会全体、いろいろなところで 73人
- ②障害者・ホームレスなど社会的弱者への対応 51人
- ③マスコミ・インターネットなど(事件被害者の人権などを含む) 26人

④いじめ、虐待、(学校・家庭を含む)	25人
⑤外国人(民族)への対応、部落差別	21人
⑥男女差別	13人
⑦リストラなどの労働者に対する企業の人権侵害	2人
⑧その他	85人

#### 【前回調査との比較】

「基本的人権は尊重されているか」 (数字は%)

	尊重されている	されていない部分もある	全く尊重されていない	わからない
2000	3.9	71.2	9.4	15.2
2004	18.2	51.8	4.9	24.4

#### (2)「尊重されている」という回答したものに関して、他の設問と相互参照を行った

「1. 尊重されている」と答えた1637人について、「Q 3 生活への不安」、「Q 4 教育を受ける権利」、「Q 5 勤労の権利」、「Q 6 社会への満足度」をみると、以下のようになっている。

	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	選択肢 4	
Q 3	630	644	249	113	(数字は人数)
Q 4	1404	118	31	73	
Q 5	738	607	116	160	
Q 6	391	783	284	162	

#### (3) Q3「生活不安」補問(「何に対して不安を感じるか」)で「7.その他」の記述内容の特徴

記述は381人あり、以下のように分類することができる。

①日本の政治、経済、社会不安(テロ、雇用・景気、生活など)	141人
②将来の生活に対する不安(年金など)	120人
③漠然とした将来に対する不安(自分自身のこと、社会のこと)	70人
④人間関係(家族、学校、友人、職場)や個人の性格、家庭の悩み	17人
⑤自然災害(地震など)、環境破壊など	17人
⑥その他	16人

#### (4) Q4「教育を受ける権利」補問(「保障されていない」)で「6.その他」の記述内容の特徴

記述は86人あり、以下のように分類することができる。

①教職員の指導、信頼関係、校則	22人
②家計、教育費、学費、教育条件など	13人
③学区統廃合、入試、希望の学校に行けない	10人
④障害児が差別されているから	9人
⑤不登校・他と交われない子の教育が保障されていない	5人

⑥その他（生徒間の人間関係に言及しているものなど） 27人

(5) Q4「教育を受ける権利」にかかわって、課程（全日制・定時制）間での相互参照を行った

	保障されている	あまり保障されていない	保障されていない	わからない
全日制（7718人）	63.5	16.9	3.1	15.6
定時制（1283人）	40.8	23.7	6.9	26.9

（数字は%）

【前回調査との比較】

「教育を受ける権利は保障されているか」

	保障されている	あまり保障されていない	保障されていない	わからない
2000年	34.5	30.1	11.8	23.0
2004年	60.3	17.9	3.7	17.2

（数字は%）

(6) Q5「勤労の権利・義務」補問（「保障されていない原因」）で「5.その他」の記述内容の特徴

記述は142人あり、以下のように分類することができる。

- ①不景気（現に就職できない） 32人
- ②企業の姿勢 28人
- ③学歴、性、年齢、障害による差別による 26人
- ④本人の能力・意思の問題 6人
- ⑤政府・行政の施策 5人
- ⑥その他（アルバイトと混同した回答、労働基準法関連） 52人

※①～⑤の複数の要素を含むものがあった

(7) Q5「勤労の権利・義務」の回答を地域（失業率の高い地域）間での相互参照を行った

数字は%

	保障されている	あまり保障されていない	保障されていない	わからない
北海道（396人）	18.9	38.9	19.3	21.2
青森（252人）	26.2	46.0	16.7	9.1
秋田（444人）	27.5	43.9	11.0	16.7
富山（496人）	28.9	36.1	9.5	25.0
岐阜（404人）	24.3	35.4	10.6	28.0

### 【前回調査との比較】

「働く機会が保障されているか」

数字は%

	保障されている	あまり保障されていない	保障されていない	わからない
2000年	7.7	40.3	36.1	14.9
2004年	23.3	42.2	12.7	20.7

※前回調査「・・・すべての人に働く機会が保障されていると思いますか」

今回調査「あなた自身や周囲の人について、働く機会が保障されていると思いますか」

今回調査の場合、記述部分などから「勤労」の中にアルバイトを含んでいると考えられる。「身近ではアルバイト、パートの仕事に就いている」ので、保障されていると捉えているか。周囲の失業状況があまりにもひどいので、自分やその周囲が相対的に保障されていると考えているか。

## 4-3「Q7～Q10」憲法に関連した意識の設問について

### (1) Q7「18歳選挙権」にかかわる問題

【調査に就いて前回調査との比較】

(数字は%)

	賛成	反対	どちらともいえない	わからない
2000年	22.8	22.2	39.6	13.9
2004年	22.7	21.4	39.1	14.4

「どちらともいえない」「わからない」が53.4%(2004年)と過半数をしめている。2000年調査とほぼ同じ傾向と言える。その背景には、子どもたちが社会参加や意見表明の経験が少ないことを示しているのではないかと。また、政治不信をふくめ社会全体への不信、モラトリアムの延長などが考えられる。

※今回の調査に参加した「学校三者協議会」にとりくむA高校の調査結果は

(数字は%)

	賛成	反対	どちらともいえない	わからない
2004年	47.5	13.9	34.7	3.0

この結果との比較は、社会や政治への参加への施局的な意欲が、学校づくりの中で育まれていることをしめしていると考えられる。

### (2) Q8「高校生活への要望」の特徴

「10その他」の欄に、選択肢1～9を選んだ者も含め、230の記述があった。具体的な内容が多く、多面的なので分類することはしないが、中から教職員に関する記述に注目し、それを抜き出すと69あった。「暴言・差別・体罰、指導力」など厳しい意見も少なくない。回答者総数9001に対し69人は率にすると1%に満たないが、

教育実践の重大な課題と捉え、特徴的なものを紹介する。

・挨拶しても返事しない教員。 ・あきらかに生徒が嫌いな教員がいる事は事実。 ・教師の暴言や体罰を無くす ・先生を改善してほしい ・先生などがもっとやる気を出す。 ・わかりにつくすぎ。やる気が無い。先生のテストを設けるべき ・先生たちの中に信頼できない人がいなくなれば、居心地よくなると思う ・先生の人間性・生徒に一方的に命令したりする先生はいらない ・古臭い考え方の人の思考改善 ・先生の生徒に対する裏表のある態度を平等にしてほしい。 ・教えることの下手な先生のリストラ。 ・先生の質の向上。 ・先生のレベルを上げる ・部活動でもっと顧問の先生にしっかりしてほしい ・生徒から尊敬されるような教師を増やす ・教師を理解のある人にしてほしい ・いい先生を増やしてほしい ・先生を自分らで選びたい ・学校より教師が一番問題がある。 ・先生と生徒の信頼関係をきづく（今はない。） ・先生の数を増やし、もっと生徒のことを見るべき ・先生への要望を通りやすくしてほしい ・先生方の人事異動が本当の生徒のためになっていない ・生徒の気持ち中心にする。ダメ先生が多い。指導がヘタ。古い考え ・教師ともあろう人が生徒に暴言を吐くのは許せない ・今は生徒の自主性にまかせすぎだと思うから、もうちょっと先生が生徒を引っぱってほしいと思う。先生ももっと熱くなってほしい。 ・先生方の生徒への理解 ・自分にとって必要な授業、好きな先生で講座が取れるようにしてほしい ・教師の教え方の改善。 ・先生と生徒の信頼を高めるべきだ。 ・教師の改善（生徒への接し方）。 ・先生は生徒のことをただの子どもとしか見ていない人がいる。 ・先生が生徒への接し方 ・勉強、勉強と言うな、と先生に言いたい ・先生方の生徒差別等をはじめとする学校側の意識の改善、差別をなくす。

### (3) Q10「核戦争回避」の特徴

「5.その他」の欄に、364人の記述があった。その特徴を以下のように分類した。

- |                |      |
|----------------|------|
| ①核戦争をさける平和的な方法 | 98人  |
| ②諦め、無駄         | 72人  |
| ③核戦争をさける攻撃的な方法 | 69人  |
| ④消極的な防衛方法      | 15人  |
| ⑤その他           | 110人 |

戦争における唯一の被爆国としての意識は強く、平和外交によって核戦争の危機を回避しようとする意思を読み取ることができる。

## 4-4 Q11「近い将来のイメージ」の記述欄の特徴

6307人の記述があった。以下の6項目に分類して、特徴的なもの・一定の意見を代表すると思われるものの記述を引用する。複数の分野に記述が及んでいるものがあるので合計は一致しない。

### ①戦争・平和・争い・核戦争・紛争・拉致問題など 2935人

1.今よりも日本を平和に、そして世界中が平和であってほしい。今すべきことは、一人一人の自覚と毎日を

- ちゃんと生活すること。戦争が起こってる土地では戦争が無くなり、食べ物を満腹に食べれて、家族がみんな揃って楽しく生活してほしい。そうならいいな。世界を変えることはできないけど、自分が変わることならできるから、みんながそうなればいいね。世界で起きていることや、戦争でされていることをよく知り、学ぶことから始めたいと思います。(北海道3年男)
- 2.どこにも武器や兵器のない平和な国になってほしいです。どこの国の人も、苦しみのない暮らしになってほしいです。(北海道1年女)
- 3.自衛隊が雪像づくり以外に必要な社会(北海道2年女)
- 4.日本だけでなく、世界全体が平和に暮らせるようになってほしい。国際交流を活発にし、貧しい人達の助けになるような国にもなってほしいし、アメリカにくっついて行動するような国には絶対なってほしくない。(北海道3年女)
- 5.平和で、いまのように自衛隊がどうか、そういうものがない、人間の良い部分がめだつような世界になってほしい。あと、一人一人がちゃんと考えられる、考える、そして行動できる人間の多い世界。(北海道3年女)
- 6.どこの国も関係なく、本当の平和を求める日本であってほしい。自衛隊は戦力だとかじゃなくて、助け合うことが大切。日本だけが無事ならいいわけじゃない。それには時間もかかるし、国同士腹をわることが出来なければいけないけど、それが実現すれば、いい国に近づけると思う。(福島1年女)
- 7.戦争などがおきることをない平和な社会であってほしい。武力行使では何も生むことはない。ただ減るだけです。今だけを考えるのではなくこれからを視野に入れていかななくてはならない。(新潟3年女)
- 8.今、問題になっているイラクと北朝鮮については、もう終了して、両国の人々が楽しく暮らしてほしい。また、日本の9条は残っていて各国へこの憲法を伝えてほしいと思う。それと、どこの国もみんな仲良くなっているとイイなあ〜と思う。(長野3年女)
- 9.国際連合に出資金が世界第2位なのに、常任理事国になれないことをとても残念と思います。(岐阜2年男)
- 10.戦争はなくなり、世界中の人々が充実した社会に生きていけるようになってほしい。また、自爆や砂漠地帯で苦しんでいる人たちに援助して貧富の差をなくしたい。自分たちだけの事ばかり考えないで周りの事に目を向けられるような人が増えてほしい。いろんな国とよい交友関係が結ばれるような活動や支援をしてあげたらいいと思う。(滋賀1年女)
- 11.今のように9条を変えようとか、戦争をしたいなどという政府の考えを、国民の平和になってほしいという考えに変えたり、アメリカに頼るのではなく自分の力で何とかしていき、世界に平和を訴えてほしい(京都市3年男)
- 12.戦争のない社会がいいです。このまま行くと戦争になってしまいそうなので。後、戦争の恐ろしさを次の世代にしっかりと語りつがなくてはいけないと思います。個人が命の尊さと重さを自覚するべきだと思います。(大阪府3年女)
- 13.アジア以外の諸国とも結びつきを強くし、全世界に平和の尊重を訴えられるような社会であってほしい。若者にも現状を把握してほしい。(兵庫2年女)
- 14.憲法9条を永久に変更しないで平和な社会に。若い人が積極的に政治に参加できる環境を。(和歌山1年男)
- 15.自衛隊も武器を持つのではなく、単に救護のためだけに存在するような社会。(岡山1年男)
- 16.第9条を守り続けてほしい。たとえガラスの国家でも日本以外に被爆国はなく訴えていくべきだ。(岡山1年男)

- 17.憲法9条の戦争放棄という条文を生かし、国際社会の中で平和のイニシアティブをとる国であってほしい。  
(岡山1年女)
- 18.日本に住む一人一人が世界でおこっている問題について考え、行動する社会になってほしい。日本は戦争反対という意思を他国にもっと強く言った方がよい。いろんな国と交流してほしい。(岡山1年女)
- 19.テレビでイラクに自衛隊が派遣されていることを良く聞きます。しかし私はそれを人道復興支援だからいいと思います。戦うことではないからです。(山口1年女)
- 20.これまで通り「平和主義」を守って、国際平和に貢献してほしい。あと、政治に不正がないようにしてほしいと思う。(山口1年女)
- 21.再び、平和な日本と世界で認められるようになってほしい。日本国内で今のイラクのような状況をつくってはいけない(小泉さんならつくってしまいそう)。(山口1年男)
- 22.核がなくなったら戦争や争いがなくなるというわけではないが、せめて、この地球上から核がなくなれば、将来ぎせいになるかもしれない多くの人々を助けることにはなると思う。だから、すべての国の人々が本当の意味で幸せになれるように、核はなくなってほしいし、争いのない地球になってほしい。(香川3年女)
- 23.子供を持ったときにちゃんと世界で起こっている問題を説明できる親でありたい。徴兵制は戦争に関係ないと言えないが災害の時に動ける人がいない国は異常だと思うから賛成。20年したら日本はそうなりそうで怖い。(愛媛3年女)
- 24.多分このままいくと10年後には憲法9条は変わっていると思う。日本も戦争に参加してそうな気がします。そしたら日本はすごく乱れて、大変なことになってると思います。だから9条は変えさせたくないと思います。(愛媛3年女)
- 25.現在進行形で戦争の映像が流れるテレビではなくて、過去を振り返って二度と同じ過ちをくりかえさないという意味の映像がテレビで流れる。そんな時代がきたらいい。自分の子どもに、今、自分が感じている恐怖感や危機感、悲しみなどは感じてほしくない。(高知2年女)
- 26.日本の、戦争をしないという良いところを、これからもずっと維持して、平和な世界を作るための最初の国として、世界の中心で平和を叫んでほしい。(佐賀1年男)
- 27.「テロ」や「戦争」などという言葉が発することが少なくなり、二度とそのようなことがあってはいけません。自衛隊派遣などで、もし殺されたら総理大臣は、その人達の遺族に対して、責任をとれるのか!! それと、経済の安定を願っている。(佐賀2年男)
- 28.憲法9条が、ずっと戦争をしない憲法のままであり続けるとともに、アメリカ等の強い国々と対等な立場であるような社会であってほしい。(宮城3年女)
- 29.戦争を知らない今の国家のレベルの低い役人を全て一掃すべき。基本的に口だけのヤツが多すぎ。有言実行した方がいい。そしてアメリカにペコペコしすぎ。もし戦争が10年後起こっていたら、今の役人を戦地へ行かせるべき。戦争軽く見過ぎ←今の国会の人達(静岡3年男)
- 30.日本が攻撃されなければ誰が死んでもかまわない。(愛知2年男)
- 31.平和な世界(戦争の危機がない、人の心が平和)。戦後社会の日本人の心がとても空虚だと思うから。(愛知2年女)
- 32.世界を平和にするために今戦争を行っているが、それが悪いとは思わないけれど、10年後には戦争も争いもない世界があることを望む。それと、日本はそろそろ憲法を改善すべきだ。外国人が作った憲法をいつまで使うのか?10年後には新しい日本があってほしい。兵も必要(愛知3年女)



- 33.まず、日本の独立をするなら日米安全保障条約を破棄するべきだと思う。または、自衛隊の軍備を条約が憲法に違反しない程度に強化、もしくは政治家を全体的に変えるべき。(秋田?男)
- 34.中・韓に対し、強気な外交をする。50年前の真実を明らかにし、我々が「日本人」としての誇りを持つ社会。(秋田2年男)
- 35.まずは腐りきったどうしようもない日本政府をどうやってもいいから排除する。たとえ武力行使でも。その後、アメリカとの関係を対等までもっていき、日本を独立させる。そしてまた、政府が腐敗しないよう国会議員の給料を一般サラリーマンぐらいまで下げ、本当にやる気のある人だけが議員になれるようにする。そうすれば日本も少しは良くなると思う。(青森1年男)
- 36.日本の他にも武力をもたないことを宣言する国家が出てきてほしい。(京都府3年男)

**②犯罪・暴力・人殺し・虐待・覚醒剤・いじめ・差別・人権問題など 963人**

- 1.景気が良く生活が豊かになって不正のない社会になってほしい。(青森1年男)
- 2.少子化社会が進んでおり、社会保障問題への不安が以前より高まっています。これからの日本は、常に高齢者の割合が多い社会となります。このことは今からではさけることはできません。しかし、少子化は努力をすれば改善できます。企業の女性に対する雇用環境の見直し、ジェンダーフリーの社会を目指すことが必要です。一人一人がさまざまな問題から目を背けない社会となってほしいです。(福島3年女)
- 3.子どもの虐待事件などが気になる。企業の脱税などが多く、国民の信用がなくなっている。もっとまともな世の中に。(和歌山3年女)
- 4.個人の自由、表現の自由をもっと広げてほしい。日本は米国の言いなりになりすぎ。もっと独立した日本になってほしい。(山口3年女)
- 5.私は21世紀が全ての人々にとって住みよい社会であってほしいと思う。たとえば、子供達の通う学校には授業を受けやすい環境が与えられ、休み時間には友達とたくさん遊べるような学校を。高齢者にとっては、社会福祉が充実し、周りの人々が優しく接することができる施設や環境づくりをすることが大切だと思う。(愛媛3年女)
- 6.きっと無理な話だと思うけど、自然環境が良くなってほしい。あと、不景気はなくなってほしい。みんなが平等に暮らせるようになってほしい。今の日本はキライ(高知3年女)
- 7.子供の意見が自由にうたえる事ができる機会がたくさんある社会になってほしいと思います。(高知?男)
- 8.すべての人が苦しい思いをせず普通の暮らしができるような環境の日本であってほしいけど無理だと思うし、期待はしていない。長崎3年女)
- 9.昔の日本のように隣近所の人たちとの交流があり、協力しあえるようになり、それにより人の心が広くなり、自然環境についてよく考えるようになり、そして事件が減り、安心して、外へ出かけられるような社会になってほしいと思います。(愛知3年男)
- 10.俺が安全ならどうでもいい(愛知1年男)
- 11.もっと景気が悪くなり、生活が大変になるかも知れない。外国人が日本に今よりもっと増え、治安が悪くなりそうだなと思う(愛知1年女)
- 12.労働力および生産力に結びつかないような高齢の人(言い換えれば消費のみに従事している人)をどうにかして減らす非人道的で無情な社会。(秋田3年男)

③リストラ・仕事・就職・進路・失業・経済・景気・バブルなど

1789人

- 1.生活的にはもっと経済回復をしてほしい。さらに国々が少しでも核を捨てるように努力する。義務教育をアメリカのように18才までにし、一人一人のIQそしてPQを高めることに努力していることがあり、就職で男女差別がない、豊かな国になってほしい（岐阜1年男）
- 2.必ず仕事に就けるようになってほしい（京都市1年男）
- 3.不況からの脱出。施設の充実がさらによくなった社会であってほしい。笑顔で過ごせる人が今より増えていくように。少しでも平和になってほしい。（愛媛3年女）
- 4.就職率が安定し、一人一人が自分のやるべきことを見つけられるような社会。少子化改善されているといいです。（愛媛2年女）
- 5.ホームレスかもしれない。（高知1年男）
- 6.お金がない、お金がないという理由で次々と倒産している社会は嫌だと思えます。一人一人が夢を見つけて、生きる目的を見つけられる社会だいいと思えます。あきらめることが多すぎて、持続することができない大人ばかりでない社会を望みます（宮城1年女）
- 7.働くことに意欲ややる気のない人が無視される社会。（静岡1年男）
- 8.今の社会はリストラが多いのでリストラとかなしで、みんなで協力しあって、よりよい日本になってほしい。あと最近の若者は子どもを作らないので3人は生め。（愛知1年男）
- 9.フリーターやホームレスがいなくて、国民全員が豊かな生活をおくれるような社会であってほしい。（秋田3年男）

④自然環境・地球温暖化・緑・空気など

502人

- 1.自然環境の問題が改善されていけばいいと思う。世界を代表する平和的国家であってほしい。（青森1年男）
- 2.もっと環境整備された戦争のない平和な社会であってほしい。技術が発達しすぎて、人々は大切なことを忘れかけていると思う。なので、なんらかの機会にもっと今と未来を考え、社会が変わってほしい。自分中心ではなく、環境や他国のことを考えて、世界が平和になればいいです。（新潟3年女）
- 3.自然が多い環境で子供を育てたい。自分の子供が進学したいと言った時に、経済的なことであきらめさせるのではなく、やりたことをやらせてあげたい。第9条が残っていて欲しい。むしろ、他の国に日本の9条のような憲法ができていたらうれしい。国民の生活ができるだけ楽になるように考えてくれる人が上にいてくれたら嬉しい。（長野3年女）
- 4.自分たちの未来にはたくさんの不安を感じている（戦争や自然について）。そうした中で、人間一人一人がしっかりと物事を考え、努力していけたら、今より少しは良くなると思う。（岐阜3年男）
- 5.自然に優しい車と工場があるといい（自然破壊防止）。世界から核をなくし、戦争のない世界であってほしい。人種など差別のない世の中がいい。アメリカの言いなりのような国でない方がいい。（岐阜1年女）
- 6.便利にすることばかり考えて進歩させるのではなくて、環境（自然）をできるだけ元に戻すことなどができればよいと思う。（京都府2年女）
- 7.温暖化に対して、日本を含め多くの国が取り組むべき。規制をもっと強化してもいいと思う。（岡山3年男）
- 8.国際社会で重要な役割にあり、唯一の被爆国として核兵器の完全排除を訴え続ける国であってほしい。また、自然環境を考えて、よりクリーンなエネルギーの使用をめざしたい。そして何よりも、誰にでもあたたかく接することができる心の広い人々のいる国になってほしい（山口1年女）

- 9.きつと無理な話だと思うけど、自然環境が良くなってほしい。あと、不景気はなくなってほしい。みんなが平等に暮らせるようになってほしい。今の日本はキライ。(高知3年女)
- 10.まず核兵器を地球上からなくし、地球上で戦争を起こせなくする。そして、世界中でお腹を空かせている人々に食料を与え、勉強などをしたがつている子どもには勉強道具などを与える。簡単に言えば、みんながしたい、やりたいと思っていることが全部できる世の中になってほしい。…ムリだと思うけど。(宮城3年男)
- 11.地球環境の改善。軍隊を持つが、戦争をしない世界(愛知1年男)
- 12.餓えで苦しむ人や、戦争の恐怖に毎日おびえる人が少しでも今より少なくなっている社会であってほしい。自分自身も国際機関で、そのような社会になるよう貢献したい。(秋田3年女)
- 13.人間ではなく動物が地球を支配している。人間は自ら地球を破壊して自ら滅ぶ。(富山3年男)

**⑤健康・病気・社会保障・介護・年金・税金(消費税)・少子化など** 540人

- 1.憲法9条は守られたままで、アメリカへの思いやりのお金は別のことに使ってほしいと思います。少子高齢化なので、介護などをもっと充実させて、また託児所などをたくさん設立したら出生率も上がると思うし、そういう社会になっていたらいいと思います。(北海道3年女)
- 2.景気や北朝鮮問題がなくなり、年金の問題なども改善されている社会であってほしいです。社会参加して、充実した仕事をしたいです。(新潟2年女)
- 3.高齢化社会になっていると思うから、道路など全てバリアフリーになってると良いと思う。「戦争なんて、昔のバカな偉い人が起こした物だ」くらい言える平和な社会であってほしい。大切な人を守るための第9条。残して欲しいと思います。(長野3年女)
- 4.高齢者への対応がしっかりしていて、すべての人が働く機会を得られる。日本の代表者の税金の無駄遣いをなくす。消費税が3%に戻っている。(岐阜1年女)
- 5.全ての国がコスタリカのような国になってほしい。自衛隊なんかがなくともいいようになってくれたらいいし、誰もが働きやすい職場があり、寛いだり安らいだりできる家があるといい。忙しい毎日に終われない日々を送りたいと思う。(京都府2年女)
- 6.永世中立国のような国に。核は絶対廃止するという強い信念をもって国際平和に貢献できる国に。社会保障の充実を。(和歌山3年女)
- 7.まずは年金問題をどうにかしてほしい。私が10年後ぐらいには、安心して年金が支払えるようにしてほしい。(山口1年女)
- 8.好戦的な態度を取るようなことがないような平和で国民が安心して暮せる社会にしてほしい。消費税を引き上げたり国民のいやがることをしない社会にしてほしい。(愛媛3年女)
- 9.自分が60歳になったときに確実に年金をもらえるようになってほしい。総理大臣を変えてほしい。不景気であってほしくない。(高知2年女)
- 10.少子高齢化をふせぐために、たくさん子供を産もうと思います。景気も回復して、みんなが楽しくくらしたいです。(佐賀2年女)
- 11.豊かな国であると同時に、福祉に長けており、アメリカに屈しない国。無駄の少ない国。(宮城3年女)

**⑥その他(ドラえもん・明るい・民主主義・政治家批判など抽象的なもの)** 1386人

- 1.「ドラえもん」を含む記述 19人

- 2. 「小泉」を含む記述 23人（うち22人は批判的）
- 3. 「政治家」か「議員」を含む記述 156人

5 資料

2004年度高校生憲法意識調査

基礎調査票

調査集団ごとに記入して、回答用紙の表紙としてダブルクリップでとめお送りください。

都道府県名

学 校 名

(該当するものに○印を付けてください。)

課程 全日制・定時制

学年 1年・2年・3年

学科 普通科  
専門学科

農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉

理数・体育・音楽・美術・英語

総合学科

調査日

2004年

月

日

調査集団

所属人数

回答人数

調査者協力者氏名 ( )

連絡先 (電話 )

9月21日、日高教必着

# 2004年度高校生憲法意識調査

2004年9月実施

日本国憲法が公布されて58年目になります。近年、憲法を見直そうという意見や、守り生かそうという意見があり、憲法をめぐる議論が盛んになっています。日本国憲法や日本の国と社会のあり方について、高校生としての皆さんが考えていることを聞かせてください。

**B1 性別**    1. 男        2. 女

《日本国憲法とあなたとの関わりについて、該当する項目の番号を回答用紙に記入して下さい》

**B2 あなたは日本国憲法をどの程度読んだことがありますか。**

1. 全文読んだ    2. いくつかの条文を読んだ    3. まったく読んだことがない

**B3 あなたが初めて日本国憲法(一部でも)を学んだのはいつごろですか。**

1. 小学校    2. 中学校    3. 高校    4. 学んだことがない

**B4 あなたは、高校に入学してから日本国憲法を学びましたか。**

**ア いつ**

1. 1学年    2. 2学年    3. 3学年    4. 学んでいない

**イ どんな機会に**

1. 公民・地歴の授業    2. 公民・地歴以外の授業    3. 特別活動(HR等)    4. 学校以外  
5. 学んでいない

《日本国憲法について、あなたの意見に最も近い項目の番号を回答用紙に記入してください》

(第9条) 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。②前項の目的を達成するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

Q1 ア 近年、憲法9条をめぐる議論が起きています。あなたはどのように考えますか。

1. 変えない方がよい 2. 変える方がよい 3. わからない

アー1 アで1「変えない方がよい」と答えた人、理由はなんですか。回答欄に記入してください。

アー2 アで2「変える方がよい」と答えた人、理由はなんですか。回答欄に記入してください。

イ 日本の平和は何によって守られていると思いますか。(二つまで)

1. 戦争放棄の憲法が守られているから  
2. アジアの国々と平和・信頼の関係が築かれているから  
3. 自衛隊があるから  
4. 日米安全保障条約(軍事同盟)があるから  
5. その他(あれば回答欄に記入してください)

ウ 現在の自衛隊は憲法に違反すると思いますか。

1. 違反する 2. 違反しない 3. どちらともいえない 4. わからない

ウー1 ウで2「違反しない」と答えた人、理由はなんですか。

1. 自衛(専守防衛)の組織であり、戦力には当たらない  
2. 戦争行為には関わっていないから  
3. 独立国家には交戦権(戦争をする権利)が認められているから  
4. その他(あれば回答欄に記入してください)

エ イラクへ自衛隊が派遣されていますが、どう思いますか。

1. 賛成 2. 反対 3. わからない

エー1 エで1と答えた人、理由はなんですか。

1. 人道的復興支援だから 2. 同盟国アメリカに協力すべきだから  
3. その他(あれば回答欄に記入してください)

エー2 エで2と答えた人、理由はなんですか。

1. イラク人の支援にならずかえってイラクの人々の反感を買っているから  
2. 国際法にしたがって国連中心の復興支援に切り替えるべきだから  
3. 自衛隊の海外派兵は憲法違反だから  
4. その他(あれば回答欄に記入してください)

オ 徴兵制(国家が法律により、青年を一定期間強制的に兵役に就かせる制度)についてどう思いますか。

1. 賛成 2. 反対 3. わからない

カ 将来、世界のどこかで核戦争が引き起こされる危険があると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

(第11条) 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

Q2 あなた自身やまわりにいる人を見て、現実に基本的人権が尊重されていると思いますか。

1. 尊重されている
2. されていない部分がある
3. まったく尊重されていない
4. わからない

補問 2または3と答えた人、具体的にどんなところで感じましたか。

1. 学校や職場
2. 生活する環境
3. 外国人への対応
4. その他（あれば回答欄に記入してください）

(第25条) すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

Q3 あなたの今の生活についてどう考えていますか。

1. 不安はない
2. 社会変化などによっては不安
3. 不安
4. わからない

補問 2または3と答えた人、何に対して不安を感じていますか。(複数回答可)

1. 保護者の経済的支え
2. 自然環境
3. 自分の健康
4. 家族の健康
5. 卒業後の進路
6. 戦争
7. その他（あれば回答欄に記入してください）

(第26条) すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。②すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする。

Q4 あなた自身や周囲の人について、教育を受ける権利が保障されていると思いますか。

1. 保障されている
2. あまり保障されていない
3. 保障されていない
4. わからない

補問 2または3と答えた人、どんな理由で保障されていないと思いますか。(複数回答可)

1. 入学試験
2. 学費
3. 通学距離（手段）
4. 学科の教育内容
5. 体罰・校則・いじめ等
6. その他（あれば回答欄に記入してください）

(第27条) すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負う。②賃金、就業時間、休息その他の勤労条件に関する基準は、法律でこれを定める。③児童は、これを酷使してはならない。

Q5 あなた自身や周囲の人について、働く機会が保障されていると思いますか。

1. 保障されている
2. あまり保障されていない
3. 保障されていない
4. わからない

補問 2または3と答えた人、保障されないのはどこに問題があると思いますか。

1. 国の制度上の問題
2. 企業の果たす責任の問題
3. 経済的な景気の問題
4. 本人の能力、意欲がないこと
5. その他（あれば回答欄に記入してください）



《日本国憲法に関連して、あなたの意見に最も近い項目の番号を回答用紙に記入してください》

Q6 今の日本の社会に満足していますか。

1. 満足している    2. あまり満足していない    3. 満足していない    4. わからない

Q7 世界の140カ国以上の国で18歳以上に選挙権が与えられているなかで、現在、日本では選挙権は20歳以上となっていますが、選挙権を18歳まで引き下げることについてどう考えますか。

1. 賛成    2. 反対    3. どちらともいえない    4. わからない

Q8 あなたにとって高校を居心地よくするためには、どうすればいいと思いますか。(二つまで)

1. 授業改善（理解しやすい教え方）    2. 授業改善（内容の充実）    3. 部活動の充実  
4. 休憩（くつろげる）場所づくり    5. 友だちとの交流    6. 校則をゆるやかにする  
7. 施設・設備の充実    8. 悩み事を相談できる場所（人・場所）  
9. 三者協議会など高校生が参加できる学校運営    10. その他（あれば回答欄に記入してください）

Q9 市町村合併や大型公共事業などの問題で住民投票が行われるときに、中学生以上の住民にも投票させる自治体があります。あなたはどうか考えますか。

1. 賛成    2. 反対    3. どちらともいえない    4. わからない

Q10 核戦争の危機を防ぐために、日本は何をすべきだと考えますか。(二つまで)

1. すべての国が核兵器を廃絶するように国連で訴える  
2. アジアを非核地帯にするよう外交努力をする  
3. 核保有国の監視を強化する  
4. 核兵器の危機はないので特別な努力は必要ない  
5. その他（あれば回答欄に記入してください）

Q11 あなたは21世紀の日本がどのような社会であってほしいと思いますか、あるいはしたいと思いますか。10年後(二十歳代の後半)くらいを想像し、思うことを回答欄に自由に書いてください。

以上

# 2004年度高校生憲法意識調査 回答用紙

B1  B2  B3  B4ア  イ

Q1 ア  ア-1

ア-2

イ  2つまで

ウ

エ  エ-1

エ-2

オ  カ

Q2  補問

Q3  補問

Q4  補問

Q5  補問

Q6  Q7  Q8

Q9  Q10

Q11 あなたは21世紀の日本がどのような社会であってほしいと思いますか、あるいはしたいと思いますか。  
10年後(二十歳代の後半)くらいを想像し、思うことを回答欄に自由に書いてください。



2004年11月3日

**発行：日本高等学校教職員組合**

東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館2F

TEL 03-3230-0284 FAX 03-3230-1569

E-mail [nikkokyo@nikkokyo.zenkyo.org](mailto:nikkokyo@nikkokyo.zenkyo.org)

<http://www.nikkokyo.org/>